

令和四年度

付属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の〔二〕から〔五〕の五つの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、〔五〕の文章は、もとあった場所からぬき出して最後にうつしたもので、順番を変えて並べてあります。

〔二〕 『万葉集』を勉強して何の意味があるんですか。」と質問した高校生に対して、「じゃあ、お前が生きていることにどんな意味があるんだ。」と切り返した教員がいた。乱暴な回答だが、ある意味で正しい。

生物としてのヒトにとって大切なのは、ヒトという種類の生物を絶めつさせないことだ。サケが卵を産んで子孫に命をつなぐように、ヒトの命をつないでいく。①そのためヒトは生きねばならぬし、自分勝手に死んでもいけない。つきつめれば、生きること以外に「…ねばならぬ」というほどのものは無い。しかし、私たちは「…ねばならぬ」ものや「必要不可欠なもの」だけでは満足できないようにできている。知識や文化といった形の見えないものをふくめて「必要なもの」をどれだけたくさん身体の内なり外なりにたくわえているかが、人の値打ちではないか。

『万葉集』を「 unnecessaryなもの」として ②と切り捨てるのなら、生きてること以外、ほとんど「 unnecessaryなもの」に取り囲まれている私たちの生自体、意味はないということになってしまふ。

〔三〕 一昨年の春から、新型コロナウイルス感染症防止のために活動の自しゆくが呼びかけられるようになった。そのときによく耳にしたのが「不要不急」③ということばだ。

新型コロナが流行する以前、大雨の翌日に寄席④(落語などを上演する劇場)に落語を聞きに行った。「昨日は大雨で電車は計画運休になっちゃうし、『不要不急』の外出はしないでくださいって言うし…。おかげで客席はガラガラ。落語なんて『不要不急』の最たるものですから。」が出演者の第一声だ。その「『不要不急』の外出はしないでください」が、いまや大雨の

ときだけではなく、日常のものになってしまった。

「必要不可欠なもの」だけでは満足できない私たちが、今、何が必要で何が不必要なのか、何に意味があり何に意味がないのかという選たくをしいられている。

☐ ネット社会では口コミの力が大きい。観光地では、SNS上で人気がある店には長い列ができる。「価値があると感じる人がいれば価値があるのだ」という前提に立てば、行列のできる店は価値がある店だ。

初めて行く土地で食事をするとき、口コミは店選びの手がかりになる。しかし、食事に入った結果が、口コミの評価どおりではないことがある。また逆に、自分が気に入っている店の評価が思った以上に低いこともある。そんなとき、決して自分の味覚がおかしいと思う必要はない。世間の好みと自分の好みとがちがったというだけのことだ。

⑥ 口コミの評価は、評価する人の男女比、年齢構成、舌のせん細さのレベル、好みなどによって大きく変わる。「価値があると感じる人がいれば価値があるのだ」としても、ものの価値は多数決ではない。「多数が良いと言うから良いものなのだろう」といった他人任せの判断ではなく、結局は「自分が良いと思うから良いのだ」というところに行き着く。

※ ネット社会 インターネットがふきゆうした社会のこと。

※ 口コミ インターネット上の書き込みなどによる評価のこと。

※ SNS 「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略号。ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど。

☐ 「映える(ばえる)」という言葉はまだ生きているのだろうか。

⑦ 死語になっているのだろうか。辞書には「写真

などが SNS で SNS に投稿(トウコウ)したくなるほど)きれいで目立つ。はえる。」と書かれている。そして、観

光地や飲食店は「映える」ことに一所懸念命だ。

「食べ物はずさえ良ければよい」とは思わない。見た目の美しさという⑧ 覚にうったえる部分もおいしさの一つだ。

「味さえ良ければよい」という発想は「必要不可欠なもの以外は値打ちがない」という貧しい考えによるもので、私たちの生を否定するものだ。しかし、「インスタ映え（SNSなどに投稿したときに見えがよいこと）」するものを追い求めようとは思わない。⑨、「インスタ映え」するものを追う姿勢は、自分が美しいと思うものではなく、他者が美しいと思うであろうものに価値を認めるものだからだ。

「何かの役に立つから」とか「だれかが良いと言うから」ではなく、⑩「自分が良いと思うから良いのだ」と自信をもって言い切れるようになりたい。それができなければ、自分が生きている意味まで⑪ になってしまおうではないか。

※

⑤ 「だれもない森のなかで木がたおれたら音はするのかわかるのか」というのは、⑫ 目にするありふれた質問だ。「音とは空気のしん動だ。木がたおれたら空気がしん動するのだから、音がするに決まっている。空気のない⑬ 空状態なら別だけどね。」などと答えてはいけない。大切なのは、人が空気のしん動を耳で感知することによって、はじめて音があつたと認識されるということだ。

ちよう覚に障害がある人は、それを補うとぎすまされた感覚で風圧や地面のしん動を感知し、木がたおれたことを知るかもしれない。しかし、音として感じることはできなかったのではないか。とすれば、だれもない、感知する人のいない森のなかではどうということになるか。答えは「音はしなかった」だ。

形の有る無しにかかわらず、ものの価値にも似たところがある。価値があると感じる人がいれば価値があるのだし、意味

を認める人がいなければ、それは不必要なものなのだ。

問一 — 線部①「そのため」とは何のためですか。解答らんに合うかたちで、十五字以上二十字以内でぬき出して答えなさい。

問二 — ②に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

② ア きつぱり イ さつぱり ウ すつぱり エ やつぱり

⑫ ア けつこう イ そんなに ウ なんとか エ ようやく

問三 — 線部③「不要不急」のような、「不○不○」というかたちの四字熟語を、解答らんに合うかたちで答えなさい。

問四 — 線部④「なつちやうし」を書き言葉に直しなさい。

問五 — 線部⑤「口コミの評価どおりではないこと」とはどのようなことですか。解答らんに合うかたちで答えなさい。

問六 — 線部⑥「口コミの評価は、評価する人の男女比、年齢構成、舌のせん細さのレベル、好みなどによって大きく

変わる」とありますが、資料1・資料2を見て、あとの問いに答えなさい。なお、利用したことがある男女別の人数

は同じで、利用者のうちで口コミに評価をした人の比率もそれぞれのグループで同じだったものとします。

1 口コミに女性の好みがよく反映していると思われるのはA社からD社の中のどれですか。

2 資料から、女性客を増やすためにはどうすればよいと考えられますか。最も効果的な方法を理由をふくめて三十字以上四十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

A社	B社	C社	D社
49%	39%	32%	11%
44%	30%	30%	10%
53%	48%	35%	12%

価格	口コミ	メニューの数・種類	料理の写真	店への交通の便	店の写真
73%	51%	49%	42%	47%	26%
80%	63%	54%	59%	50%	32%

検索サービスの利用について2018年に約16,000人を対象に民間が
したものです。作問にあたって数字を調整しています。

資料 1

飲食店検索サービス会社 <small>けんさく</small>
調査対象者(男女)のうち利用したことがある人の比率 (複数回答あり)
調査対象者(男性のみ)のうち利用したことがある人の比率 (複数回答あり)
調査対象者(女性のみ)のうち利用したことがある人の比率 (複数回答あり)

資料 2

飲食店を探す際に重視するポイント
男性(複数回答あり)
女性(複数回答あり)

※上の資料は、飲食店
行った調査をもとに

問七

⑦

⑨

に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア それから イ それとも ウ ところが エ ところで オ なぜなら

問八

⑧

⑬

に入る漢字を、それぞれ一字で答えなさい。

問九

⑪

⑬

に入る最も適当なことばを、⑬の文中より四字でぬき出して答えなさい。

問十

——線部⑭「それ」とは何ですか。文中の言葉を使って、七字で答えなさい。

問十一

⑤

②

④

の文章を正しい場所に入れるためには、②～④のどの文章の後がよいですか。漢数字で答えなさい。

問十二

次の1～4について、筆者の考えかたと合っていれば○、ちがっていれば×を、それぞれ書きなさい。

- 1 サッカーがうまくなくても生活の役には立たないので、楽しみだけのためにサッカーをすることは無意味だ。
- 2 口コミを信じて映画を観みに行ったのに全くおもしろくなかったのは、口コミの評価が間ちがいだったからだ。
- 3 鉄道がスピードや安全性だけでなく車両のデザインなどにこだわるのも、楽しい旅づくりのために大切だ。
- 4 都会で流行しているとテレビで言っていたという理由だけでその髪型かみにするのは、自分に自信のない人間だ。

問十三

——線部⑩

『自分が良いと思うから良いのだ』と自信をもって言い切れるようになりたい」とありますが、そ

のためには何が必要だと思えますか。理由をふくめて百字以上百二十字以内で自由に書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

〔二〕

次の1～10の——線部の漢字の読みをひらがなで答え、カタカナを漢字に直しなさい。

- 1 その都度手続きをする。
- 2 親鳥がひなを育む。
- 3 大きく胸を反らす。
- 4 兄に判断を委ねる。
- 5 久しく会っていない友人。
- 6 罪をコクハクする。
- 7 自国のリヨウドを広げる。
- 8 人通りがタえない。
- 9 安全ソウチの点検をする。
- 10 ベンカイばかりしてはいけません。

〔三〕

次の【 】内の意味になるように、後のア～クから選び、記号で答えなさい。

- 1 顔が（ ）。【有名になる】
 - 2 舌を（ ）。【非常に感心する】
 - 3 手を（ ）。【必要な対策をとる】
 - 4 鼻に（ ）。【たび重なっていやになる】
 - 5 腹を（ ）。【隠さず本心を打ち明ける】
 - 6 目が（ ）。【自分の誤りに気づく】
 - 7 肩を（ ）。【味方をする】
 - 8 耳を（ ）。【相談にのる】
- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| ア 付く | イ 割る | ウ 貸す | エ 持つ |
| オ 巻く | カ 覚める | キ 売れる | ク 打つ |

〔四〕

次の1～6の□には共通の漢字が入ります。それぞれ当てはまる漢字を入れなさい。

- | | | | | | | |
|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1 | <input type="checkbox"/> 命 | <input type="checkbox"/> 徒 | 天 | <input type="checkbox"/> 令 | 行 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | <input type="checkbox"/> 直 | <input type="checkbox"/> 当 | 修 | <input type="checkbox"/> 月 | 改 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | <input type="checkbox"/> 手 | 選 | <input type="checkbox"/> 列 | <input type="checkbox"/> 式 | 枚 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | <input type="checkbox"/> 句 | <input type="checkbox"/> 約 | 調 | <input type="checkbox"/> 操 | 札 | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 常 | <input type="checkbox"/> 続 | <input type="checkbox"/> 結 | 関 | <input type="checkbox"/> 想 | <input type="checkbox"/> |
| 6 | 回 | <input type="checkbox"/> 入 | 吸 | <input type="checkbox"/> 集 | <input type="checkbox"/> 納 | <input type="checkbox"/> |

〔五〕

次の表と図を読み取り、問いに答えなさい。

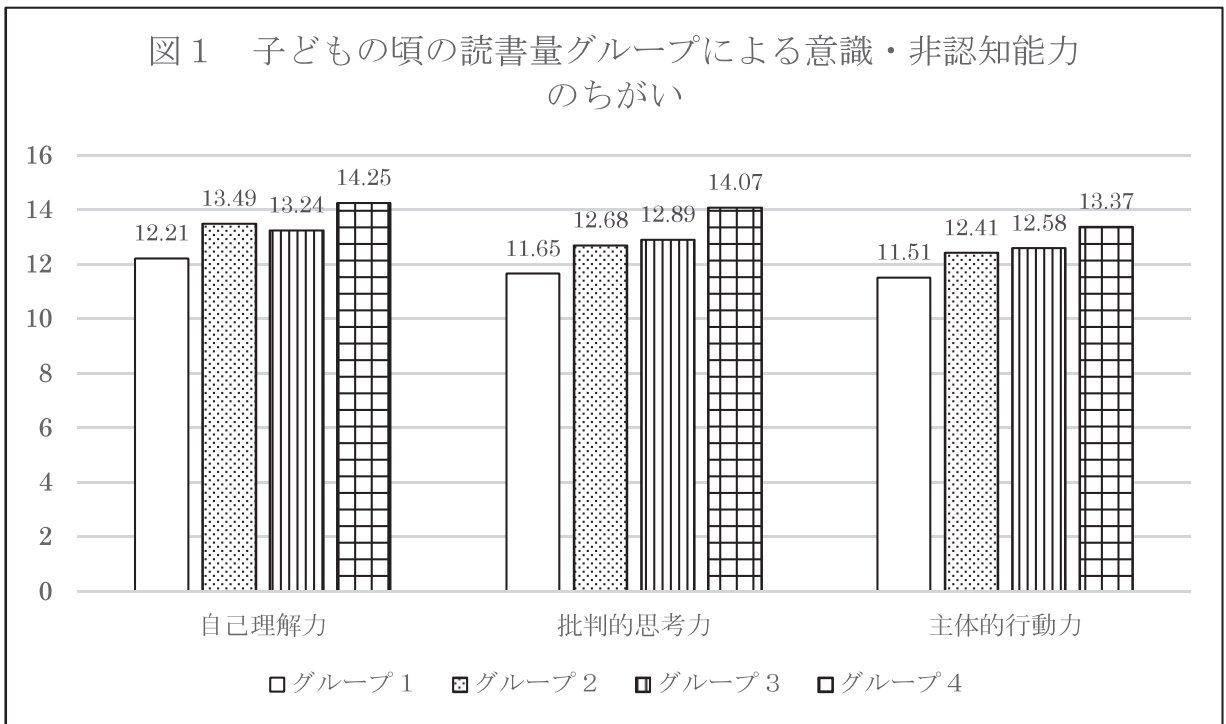
問一 表や図から読み取れるものを次のア～キから全て選び、記号で答えなさい。

- ア 読書をしなくなった人は、していた頃よりも意識・非認知能力が低くなる。
- イ 読書している人はしていない人よりも意識・非認知能力が高い傾向がある。
- ウ 子どもの頃の読書量が多い人は、少ない人よりも意識・非認知能力が高い傾向がある。
- エ 子どもの頃の読書量が少ない人は、成長するにつれて読書量が増える傾向が見られる。
- オ 本（紙ばい体）は読まないが、スマートデバイスを使った読書は増えている。
- カ スマートデバイス中心の読書では、あまり効果が見られないので問題がある。
- キ 本（紙ばい体）で読書している人の方が意識・非認知能力が高い傾向がある。

問二 表や図から、どのような読書活動をするのが望ましいと考えられますか。理由と合わせて自分の意見を七十字以上百字以内で述べなさい。

表1 子どもの頃の読書量によるグループ分けと特徴

グループ	特 徴
グループ1	小・中・高を通して読書量が少ない。
グループ2	小・中・高で読書量が低下している。
グループ3	小・中・高で緩やかに読書量が上昇している。
グループ4	小・中・高を通して読書量が多い。

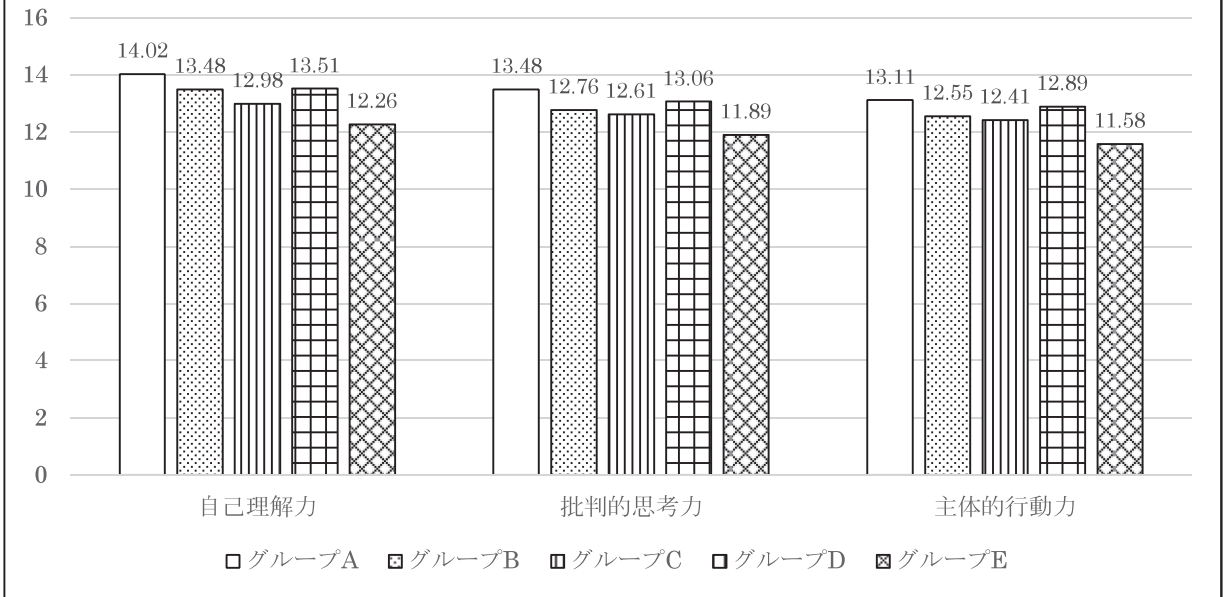


※非認知能力 知能に関係なく、「意欲」「協調性」「粘り強さ」などの個人の特性。図の「自己理解力」「批判的思考力」「主体的行動力」を指す。

表2 使用ツールによるグループ分けと特徴

グループ	特 徴
グループA	本（紙ばい体）による読書時間が長く、 それ以外のツールによる読書時間が短い。
グループB	携帯電話、スマートフォン、タブレットによる読書時間が長く、 それ以外のツールによる読書時間が短い。
グループC	パソコンによる読書時間が特に長い。
グループD	パソコンとスマートデバイスによる読書時間が長い。
グループE	すべてのツールによる読書時間が長い。

図2 使用ツールのグループによる意識・非認知能力のちがい



(令和3年8月11日 独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター)